

MSYM-74016-01	ラビングコンパウンド		株式会社 アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2011年9月8日	改定日	2015年1月7日 第2版

1 製品及び会社情報

製品名	ラビングコンパウンド
製品コード	90790-74016
会社名	株式会社 アスカ
住所	兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬812-6-2-705
担当部門	品質保証本部
担当者	宮岡祐士
電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
FAX番号	078-974-5303
緊急連絡の電話番号	078-974-6122(AM9:00-PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
奨励用途及び使用上の制限	船底、ハル等の汚れ落とし、各艀装品、金属部分の錆落とし及びキャビン内のFRP、金属部(ステンレス、クロームメッキ等)の錆落とし
整理番号	MSYM-74016-01

2 危険有害性の要約

GHS分類

・ 皮膚腐食性/刺激性	区分2
・ 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2
・ 皮膚感作性	区分1
・ 生殖細胞変異原性	区分2
・ 発がん性	区分1
・ 特定標的臓器毒性－単回ばく露	区分1
	区分3
・ 特定標的臓器毒性－反復ばく露	区分1
・ 水性環境有害性、短期間(急性)	区分3
その他の項目は、「分類対象外」もしくは「分類できない」に該当	

GHSラベル要素

シンボル

- ・ 健康有害性
- ・ 感嘆符



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 臓器(呼吸器)の障害
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 眠気またはめまいのおそれ
- ・ 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(呼吸器)の障害
- ・ 水生生物に有害

MSYM-74016-01	ラビングコンパウンド		株式会社 アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2011年9月8日	改定日	2015年1月7日 第2版

3 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名／化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	化審法No.	安衛法No. 通知対象物質	PRTR法No.	毒劇物 該当非
キシレン (灯油含有物)	<1	1330-20-7	(CH ₃) ₂ C ₆ H ₄	既存	136	1種80	該当※
鉱油	5～10	特定できない	特定できない	既存	168	非該当	非該当
シリカ	10～20	14464-46-1	特定できない	既存	312	非該当	非該当
灯油	30～40	64742-81-0	特定できない	既存	380	非該当	非該当
トリエタノールアミン	<5	102-71-6	N(C ₂ H ₄ OH) ₃	既存	381	非該当	非該当

化審法No.: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法No.: 労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

PRTR法No.: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の政令番号

毒物劇物取締法 毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)毒物及び劇物指定令

4 応急処置

吸入した場合

蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、暖かく安静にする。
呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。
直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

大量の水及び石鹸又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤・シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合、気分が悪い時には、直ちに医師の診断を受けること。
汚染された衣服を取り除くこと。

目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。
コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。
できるだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5 火災時の措置

消化剤

水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。
消火作業は、可能な限り風上から行なう。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

MSYM-74016-01	ラビングコンパウンド		株式会社 アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2011年9月8日	改定日	2015年1月7日 第2版

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
屋内で漏洩した場合は十分に換気を行うこと。

保護具および緊急時措置

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

除去方法

スコップ、ウエス等で回収する。
大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

換気の良い場所で取扱う。
容器はその都度密栓する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着けて作業する。
過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないこと。

保管

直射日光を避け、通気の良い場所に保管すること。
子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置、全体換気の設備を使用する。

許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
キシレン (灯油含有物)	50ppm	50ppm	100ppm
鉱油	未設定	未設定	未設定
シリカ	未設定	未設定	0.025mg/m3
灯油	未設定	未設定	0.025mg/m3
トリエタノールアミン	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸器用の保護具

必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。

目の保護具

必要に応じて保護眼鏡を使用する。

皮膚の保護具

必要に応じて保護手袋等を使用する。

MSYM-74016-01	ラビングコンパウンド			株式会社 アスカ		
SDS(安全データシート)	作成日	2011年9月8日	改定日	2015年1月7日	第2版	

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

外観・形状	ペースト状
色	白色
臭い	石油系溶剤臭
沸点範囲	100～310℃（推定値）
融点	データなし
引火点	なし
発火点	データなし
密度(比重)	1.0
溶解性	水に分散

10 安定性及び反応性

安定性

通常の条件では安定

反応性

酸等との接触によりわずかに発熱する。

危険有害な分解生成物

燃焼などにより、一酸化炭素等の有害ガスが発生する恐れがある。

11 有害性情報

成分名	LD50M	LD50S	皮	眼	呼	変	発	生	単			反	吸	環境	
														短	長
キシレン(灯油含有物)	4300	—	2	2A	—	—	—	1B	1	—	3	1	—	2	2
鉱油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
シリカ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
灯油	—	—	2	—	—	—	2	—	—	—	3	—	—	1	—
トリエタノールアミン	—	—	2	1	1	—	2	—	—	2	3	—	—	—	3

略記号:

LD50M: 経口毒性（主としてラット）mg/kg LD50S: 経皮毒性（主としてラット）mg/kg

皮: 皮膚腐食性・刺激性 眼: 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼: 呼吸器感作性または皮膚感作性

変: 生殖細胞変異原性 発: 発がん性 生: 生殖毒性

単: 特定臓器・全身毒性—単回暴露 反: 特定臓器・全身毒性—反復暴露

吸: 吸引呼吸器有害性

短: 水性環境有害性、短期間(急性) 長: 水性環境有害性、長期間(慢性)

12 環境影響情報

11.有害性情報にあわせて記載している。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器・包装

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託して下さい。

MSYM-74016-01	ラビングコンパウンド		株式会社 アスカ	
SDS(安全データシート)	作成日	2011年9月8日	改定日	2015年1月7日 第2版

14 輸送上の注意

国際規制

国連分類	非該当
国連番号	非該当
指針番号	非該当

国内規制

陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

積載方法

運搬時の積み重ね高さは3m以下

混載禁止

第一類及び第六類の危険物

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

高圧ガス保安法

該当せず

消防法

法第2条第7項危険物別表第1

非危険物

毒物及び劇物取締法

法第2条別表第1、別表第2、別表第3

該当せず

労働安全衛生法

法57条第1項(表示対象物質)

キシレン

法57条の2第1項(通知対象物質)

3.組成、成分情報に記載

施行令別表第1危険物

該当せず

施行令別表第3特定化学物質

該当せず

施行令別表第6の3有機溶剤

該当せず

化学物質排出把握管理促進法

施工令別表第1第1種指定化学物質

該当せず(規制値未満のため)

施工令別表第2第2種指定化学物質

該当せず

16 その他の情報

引用文献

JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

産業中毒便覧

(医歯薬出版株式会社)

16112の化学商品

(化学工業日報社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)

GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

原材料MSDS

※この安全データシートは日本国内向けに作成していますので、無断での翻訳・海外向けへの交付はご遠慮くださいますようお願いいたします。

製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制について事前にご確認ください。

※この情報は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考として、取扱う事業者提供されるものです。

※記載内容は現時点で入手できる資料および情報に基づき作成しております。新しい知見および試験情報等により改正されることがあります。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従いまして、この安全データシートそのものは、安全の保証書ではありません。